

平成 30 年第 6 回定例会一般質問通告事項

12 月 7 日 午 前	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 政治の焦点となっている消費税増税と憲法改定について、平谷市長の所見と政治姿勢を問う</p> <p>(1) 安倍首相の、来年 10 月からの消費税 10%増税宣言について</p> <p>ア 消費税 10%増税が市民に与える影響をどう考えているか</p> <p>イ 増税延期を政府に求めるべきではないか</p> <p>(2) 安倍首相の憲法 9 条改定宣言について</p> <p>ア 憲法 9 条に自衛隊を書き加える安倍首相の改定案をどう受けとめているか</p> <p>イ 憲法 9 条を堅持することを政府に求めるべきではないか</p> <p>2 国民健康保険料の改善について</p> <p>(1) 国民健康保険料は他の医療保険制度と比較して加入者の負担が重すぎないか</p> <p>(2) 子どもが増えるごとに保険料が上がることについて、「子育てするなら尾道よ」の宣言からみて、矛盾を感じないか。均等割りをするすべてなくすことは制度上無理だが、第 3 子から軽減措置をとっている自治体もある。そのような軽減措置をつくるべきではないか</p> <p>(3) 全国知事会は国に 1 兆円の公費負担を求めている。この活動に連携する動きを市長会を通すなどして積極的に行うべきではないか</p> <p>3 子ども医療費助成制度を高校生まで拡充することについて</p> <p>(1) 静岡県においてはほとんどすべての自治体が 18 歳以下の子ども医療費無料化を実施している。このことをどう評価するか</p> <p>(2) 平谷市長の子ども医療費助成拡充策をさらに進め、18 歳以下の子ども医療費無料化を実施してはどうか</p> <p>4 温かい中学校給食を市内全域に</p> <p>(1) これから冬に向けて一部の学校だけ温かい給食というのは行政の公平性に欠けるのではないか。できるところから改善すべきではないか</p> <p>(2) 因島南中では 1 食あたり、いくらの委託料が支払われているのか。本土の栗原中ではどうか</p> <p>(3) 因島南小から因島南中へ配送することは法的に可能か。また物理的に可能か</p>	

	<p>(4) 温かい中学校給食を市内全域に広げること为目标に、それぞれの地域で具体的計画を作成すべき時に来ていると思う。実施すべきではないか</p> <p>5 エアコン設置事業について</p> <p>(1) エアコン設置率はどうなったか。全国平均はどうか。尾道はどうか</p> <p>(2) すでにエアコンが設置された小学校は何校か。未設置の小学校はどこか</p> <p>(3) すでにエアコンが設置された中学校は何校か。未設置の中学校はどこか</p> <p>(4) すべての学校に計画通り31年8月までに設置されるのか</p> <p>(5) 8月に完了では1年を棒に振ることになる。工夫をして暑くなる6月までには設置するよう工事を前倒しするべきではないか</p> <p>(6) エアコンの温度設定や冬場のエアコン利用については、機械的に一律の基準をつくるのではなく、地域の実情や学校の風通しなど実情に応じた柔軟な対応をすべきで、その管理については教師に裁量権を認めるべきではないか</p> <p>6 しまなみ海道通行料金軽減の公約に対する平谷市長の見解と政治姿勢について</p> <p>(1) 市長の公約は「しまなみ海道の通行料金軽減」ではなく「しまなみ海道の通行料金軽減を国に求める」だったのか</p> <p>(2) 公約が「しまなみ海道の通行料金軽減」だったのなら、未だ公約を実施していないことをどう考えているのか</p> <p>(3) 公約を実施しないまま、次の市長選挙に出馬する考えか</p> <p>7 細島航路の欠航について</p> <p>(1) 細島航路の欠航は2度とない体制ができたか</p> <p>(2) 船員の確保のために嘱託職員には交通費が出ないという制度を改善すべきではないか</p>
--	--